

※収入がない世帯も必ずご提出ください。

1. 提出期限 令和 年 月 日
2. 提出先、問い合わせ先
区役所保険年金課
TEL
FAX
3. 期限までに必ずご回答ください。

令和 年 月 日 提出

太枠の中を、ご記入ください。

記号番号	
受付	入力

氏 名						
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日		昭和・平成 年 月 日		昭和・平成 年 月 日	
申告の有無	1.住民税申告済 (月 日提出) 2.確定申告済 (月 日提出)		1.住民税申告済 (月 日提出) 2.確定申告済 (月 日提出)		1.住民税申告済 (月 日提出) 2.確定申告済 (月 日提出)	
令和 年1月1日 時点の居住地	1.福岡市 2.福岡市以外 ()		1.福岡市 2.福岡市以外 ()		1.福岡市 2.福岡市以外 ()	
収入の種類	収入金額	必要経費	収入金額	必要経費	収入金額	必要経費
公的年金 (老齢、厚生、国民)						
遺族年金、障害年金						
給与収入						
個人年金						
その他 ()						
収入がない人 該当する番号を○で 囲み、5.その他に該 当する場合は、余白に詳 しく記入してくださ い。	1.扶養を受けていた 2.送金を受けていた 3.預貯金で生活していた 4.留学生 5.その他 ()		1.扶養を受けていた 2.送金を受けていた 3.預貯金で生活していた 4.留学生 5.その他 ()		1.扶養を受けていた 2.送金を受けていた 3.預貯金で生活していた 4.留学生 5.その他 ()	

- ★ 記入が終わったら、もう一度点検を。

記載内容が充分でなかったりすると、区役所からお問い合わせをすることになりますので、記載漏れがないか、もう一度点検をしてから提出してください。記入漏れ等がある場合は簡易申告書を返送することがあります。

また、今回申告した内容が、後日税務署の申告等により変更となった場合は、保険料が変わることもありますのでご了承ください。
- ★ 賦課期日における被保険者（※）の所得の合計が一定基準額以下となる場合、均等割額と平等割額が減額されます。

収入がない人も、昨年の状況について該当する番号を○で囲み、必ず提出してください。

※ 被保険者には後期高齢者医療制度の被保険者となったことにより、国民健康保険の資格を喪失した人で、引き続き国民健康保険の同一世帯に属する人（特定同一所属者と言う。）を含みます。

国民健康保険の世帯主であった場合は、引き続き世帯主であることが特定世帯所属者の条件です。
- ★ 提出はお早めに。

報告書は、提出期限内に同封の返信用封筒にて、返送してください。（切手は不要です。）

提出期限を過ぎると、減額の場合、保険料減額該当月が遅れることがあります。
- ★ これは市県民税の申告ではありません。

住民税が課税される程度の収入金額がある人は税務署もしくは区役所課税課への申告が必要な場合があります。

キリトリ線

令和 年 月 日 提出

記載例

令和 年度国民健康保険料に関する申告書（簡易申告書）

私の世帯について次の通り申告します。

太枠の中を、ご記入ください。

住 所	福岡市中央区天神1丁目8-1		
世帯主氏名	〇 〇 〇 〇 〇	電話番号	123-4567

記号番号	
受付	入力

令和 年中の収入状況（令和 年1月1日から12月31日まで）

氏 名	〇 〇 〇 〇 〇		△ △ △ △ △		① 申告していただく方を印字しています。
生 年 月 日	昭 和 平 成 60 年 3 月 3 日		昭 和 平 成 61 年 2 月 2 日		
申告の有無	1.住民税申告済（ 月 日提出） 2.確定申告済（ 月 日提出）		1.住民税申告済（ 月 日提出） ② 確定申告済（3 月 31日提出）		② 所得の申告をしている場合は、記入してください。
令和 年1月1日時点の居住地	① 福岡市 2.福岡市以外（ ）		① 福岡市 2.福岡市以外（ ）		③ 印字した年の1月1日の住所を記入してください。
収入の種類	収入金額	必要経費	収入金額	必要経費	④ 該当するところを記入してください。
公的年金（老齢、厚生、国民）					→ 老齢年金、厚生年金、国民年金の収入がある方
遺族年金、障害年金					→ 遺族年金、障害年金の収入がある方
給与収入	600,000				→ 給与収入は、賞与、手当も含めた税込収入を記入してください。
個人年金					→ 個人年金は収入金額と必要経費を記入してください。
その他（ 営業 ）			1,300,000	1,000,000	→ 上記に該当しない収入の方は、（ ）欄に収入の名称と収入金額、該当する場合は必要経費を記入してください。
収入がない人 該当する番号を○で囲み、5.その他に該当する場合は、余白に詳しく記入してください。	1.扶養を受けていた 2.送金を受けていた 3.預貯金で生活していた 4.留学生 5.その他（ ）		1.扶養を受けていた 2.送金を受けていた 3.預貯金で生活していた 4.留学生 5.その他（ ）		→ 収入が無かった方は、昨年の状況について必ずこの欄に記入してください。